

# KYTの基本的な進め方

## 1 KYTの進め方は

KYTは、簡単に言うと、イラストシートを使って少人数のチームやグループで危険について話し合い、自分たちはどうするという行動目標を決め、必ず実行しようという訓練で、4つのステップがあります。

いろいろな場所や環境での行動や状況を描いたイラストシートを用意して（現場を見て、あるいは実際にやってみてというやり方もあります）、場所・環境、行動、状況の中にひそむ危険の要因とそれによって起こる現象を話し合い、それに基づいて、最も危険と思われるポイントやそのための対策と行動目標を決め、最後には全員で自分たちはこうしようという行動目標を指差し唱和することで、しっかり頭にたたき込みます。

## 2 KYTのために準備するもの

まず、次のものを準備します。

### ① イラストシート

みんなで身近な危険を話し合える題材のイラストシートを準備します。

※通常、KYTで使用するイラストシートは、参加するメンバー同士で危険を共有しやすいように、テーマが細分化されていて、わざと危険を仕掛けたものではなく、よくある日常の場面を描いたものが良いとされています。また、KYTでは、ウツカリ、ボンヤリといったヒューマンエラーや、「めんどうだな」「たぶん大丈夫」といった省略行為に自ら気づくために、イラストシートに描かれた人物に自分になりきるようにイラストのどの人物が自分であることを明らかにしておきます。しかしながら、本書で紹介する子供向けKYTのイラストシートは、子供たちにまず話し合いに参加してもらうことを主眼に置いたため、間違い探しのものや危険が仕掛けられたものもあえて使用しています。

### ② 記録用紙

本書61頁の「レポート用紙」をA3に拡大したもの、または模造紙

### ③ サインペン（赤と黒）

## 3 チームの作り方

① みんなで話し合うのに適当な数ということを考えてチーム分けをします。4～6人位

で1チームが良いでしょう。

- ② チームの一体感、連帯感を高めるためにチームに名前（ニックネーム）をつけます。みんなでアイデアを出して楽しい名前を考えます。
- ③ リーダー（話し合いの司会をする人）、書記（話し合いの内容を記録用紙に記録する人）、発表者（発表会でチームの代表として発表する人）、コメント係（発表会でほかのチームの内容や結果についてコメントをする人）を決めます。

## 4 4つのステップによる話し合いと発表会

チームごとに次の4つのステップを踏んで、リーダーの司会で話し合いを進めていきます。書記はレポート用紙に、みんなの発言を書いています。ここでは、例として第4章のモデルシート「工作」（19頁）を使用します。

### \*ステップ1「どんなキケンがひそんでいるのかな？」

イラストシートを見ながら、気がついたキケンを挙げて、「キケンのポイント」として記録します。「なに（だれ）が、どうして、どう（転ぶ、打つ、落ちるなど）なる」などと、なるべく具体的に表現するようにします。一人ひとりが発言し、全員がキケンをたくさん出すようにします。少なくとも5つ以上を目標にします。

### \*ステップ2「どのキケンが一番あぶないかな？」

ステップ1で見つけ出したキケンのポイントをリーダーが順に読み上げ、危ないと思った人は「それは危ないです」と発言し、発言があったものには書記が赤ペンで番号に丸をつけます。次に丸のついたもの全部をもう一度順に読み上げ、その中で特に危ないと思ったものを1つか2つに絞り二重丸にします。二重丸をつけたキケンのポイント

